

行政報告



▲行政報告の全文をご覧になれます



▲就職・Aターン真夏の大相談会



▲子育てサポートハウス上棟式・餅まき



▲聖園学園短大と子育て支援に関する連携協定締結



▲北秋田市戦没者追悼式

令和4年北秋田市議会9月定例会は9月12日に開会し、10月11日までの会期で開催。議会初日には行政報告、上程された各議案の大綱質疑、また、15日と16日には一般質問が行われました。20日から各常任委員会に付託された議案が審査され、決算特別委員会の審査を経て、10月11日の最終日は委員長からの報告、質疑、討論、採決などが行われる予定です。

なお、行政報告の主な概要は次のとおりです。

総務部

■総務課関係

大学卒程度一般行政および建築・土木・保健師の採用試験第1次試験合格者を、7月1日付けで告示しました。7月16日に建築・土木・保健師の第2次試験および保育士の採用試験を行い、土木1名、保健師1名、保育士1名の合格者と保健師1名の補欠合格者を7月22日付けで告示しました。また、大学卒程度一般行政の第2次試験を7月30日に行い、8月12日付けで2名の合格者を告示しました。

8月3日に発生した大雨災害は、同日「北秋田市災害対策本部」を設置後に避難情報を発令し、警戒にあたりました。また、8月9日からの大雨についても、10日に「北秋田市災害警戒部」を設置後、13日未明に「北秋田市対策本部」に改組のうえ避難指示を発表し、避難所の運営など災害対応にあたりました。被害件数は、住宅被害が床上浸水5件、床下浸水25件、土砂災害90件、倒木29件等となりました。

■総合政策課関係

北秋田市地域公共交通活性化協議会が6月3日に開催され、事業計画および予算について承認されました。

東京都で「東北移住＆つながり相談会」が7月24日に開催され、本市に興味や関心のある6組13名の移住相談を受けました。

イオンタウン鷹巣で「就職・Aターン真夏の大相談会」を地元企業7社とハローワーク鷹巣の共催で8月12日に開催し、帰省や求職中の市民等11組12名が相談に訪れて、移住支援制度やAターン制度などを紹介しました。



▲笑内駅の近くに開園した「ひまわり迷路」

■内陸線再生支援室関係

秋田内陸地域公共交通連携協議会総会が7月8日に開催され、前年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と予算が承認されました。今年で11年目を迎える内陸線の夏の風物詩として定着した「田んぼアート」を、県などの協力により沿線5か所で実施しました。

また、新たに笑内駅向かいの圃場に開園した「ひまわり迷路」では、阿仁合小学校の児童や地域の方々などが植えた約3万本のひまわりが咲き誇り、たくさん親子連れやカップル等で賑わいました。秋田内陸線では開園を記念し、阿仁合小学校1・2年生の児童が描いた絵で装飾した「ひまわり列車」の運行や、笑内駅において急行列車の臨時停車を行いました。

財務部

■財政課関係

5月1日から7月31日までの工事等発注状況（500万円以上）は58件で、契約額16億3925万8千円となっています。

■税務課関係

令和4年度の個人市民税と国民健康保険税の当初賦課状況は、個人市民税の納税義務者数が1万3758人、課税額が9億8063万6300円。国民健康保険税の課税世帯は4556世帯、課税額が4億6233万100円となっています。

市民生活部

■生活課関係

古着・古布の無料回収事業は、6月12日、19日の両日に本庁舎と森吉総合窓口センター2か所を実施し、295名の皆さまからご協力をいただきました。

一般廃棄物処理基本計画は、今年度が計画の最終年度であることから、見直しを含めた策定を行うため、7月13日に廃棄物減量等推進審議会を開催しました。また、審議会委員9名に対し委嘱状の交付を行いました。

夏の交通安全運動は、7月11日から20日までの10日間実施されました。

7月末現在の住民登録者数は2万9683人で、世帯数は1万3765世帯となっています。

マイナンバーカードは、7月末現在で交付枚数が1万1624枚となっています。

国民健康保険は、7月末現在の被保険者数は6309人、加入世帯数は4448世帯、後期高齢者医療の被保険者数は7646人となっています。

■市民課関係

7月末現在の住民登録者数は2万9683人で、世帯数は1万3765世帯となっています。

マイナンバーカードは、7月末現在で交付枚数が1万1624枚となっています。

国民健康保険は、7月末現在の被保険者数は6309人、加入世帯数は4448世帯、後期高齢者医療の被保険者数は7646人となっています。

健康福祉部

■福祉課関係

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円を支援する「子育て世帯生活支援特別給付金」の交付を8月1日現在で、低所得のひとり親世帯197世帯、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯72世帯に給付しました。

子育てサポートハウスの上棟式と餅まきが8月8日に行われ、市内の園児や地域住民が日本建築における伝統行事を体験し、完成までの安全を祈願しました。

学校法人聖園学園聖園学園短期大学と子育て支援に関する連携協定を8月22日に締結しました。

今後は市内子育て施設への学生の派遣、短大による講演会の開催および保育従事者を対象としたスキルアップ研修などを行うことになっています。

北秋田市戦没者追悼式を8月23日に文化会館で開催し、関係者並びに遺族代表約110人が参列しました。戦後77年を経て改めて恒

久平和を誓うとともに、本市関係戦没者1700人余りの英霊の遺徳を偲び、黙とうと献花を捧げました。

■高齢福祉課関係

生活支援サポーター養成講座を7月26日に市民ふれあいプラザで開催し、15名の受講者が地域における見守りボランティアとしての基礎を学び修了しました。

介護保険は、7月末現在の要支援・要介護認定者数が2812人で、認定に対する受給率は89.9%となっています。

地元就職支援および介護職員の人材確保を目的として、今年で7年目となる高校生を対象とした介護職員初任者研修を7月22日に開講し、受講生3名は130時間の研修と修了試験を経て、全員が資格を取得しました。

■医療健康課関係

成人健診は、森吉地区から始まり、順に合川、阿仁、鷹巣の4地区で感染予防対策をしながら実施しました。各種集団健診の受診者数は7月末現在で、特定健康診査1216人、後期高齢者健康診査892人、さわやか健康診査39人、

一般健康診査25人となり、各種がん検診等は、胃がん検診1045人、大腸がん検診2231人、肺がん等検診2251人、前立腺がん検診771人、肝炎ウイルス検診13人、子宮頸がん・婦人科超音波検診316人、乳がん検診308人、骨粗しょう症検診188人となっています。

介護予防事業は、6月1日から16日まで市内4会場で、75歳等の方を対象に1回目フレイル健診を実施し、118人の方が受診しました。

健康増進事業は、6月30日に今年度第1回目となる市民ウォークを実施しました。「縄文小ケ田ウォーク」として伊勢堂代縄文館周辺をウォーキングし、51人が参加しています。

新型コロナウイルス予防接種事業の8月23日現在の接種状況は、60歳未満が1074人、60歳以上は4876人で、60歳以上の接種率は33.4%となっています。また、小児5〜11歳の2回目接種まで終了した方は826人で、接種率は71.5%となっています。